

## 2 - 10 福島県東部におけるラドン観測 (XII)

### Radon Observation in the Eastern Part of Fukushima Prefecture (XII)

東京大学理学部

Faculty of Science, The University of Tokyo

前報<sup>1)</sup>にひきつづき、福島県東部における地下水中のラドン濃度の連続観測結果 (1993年11月～1994年11月) を報告する。

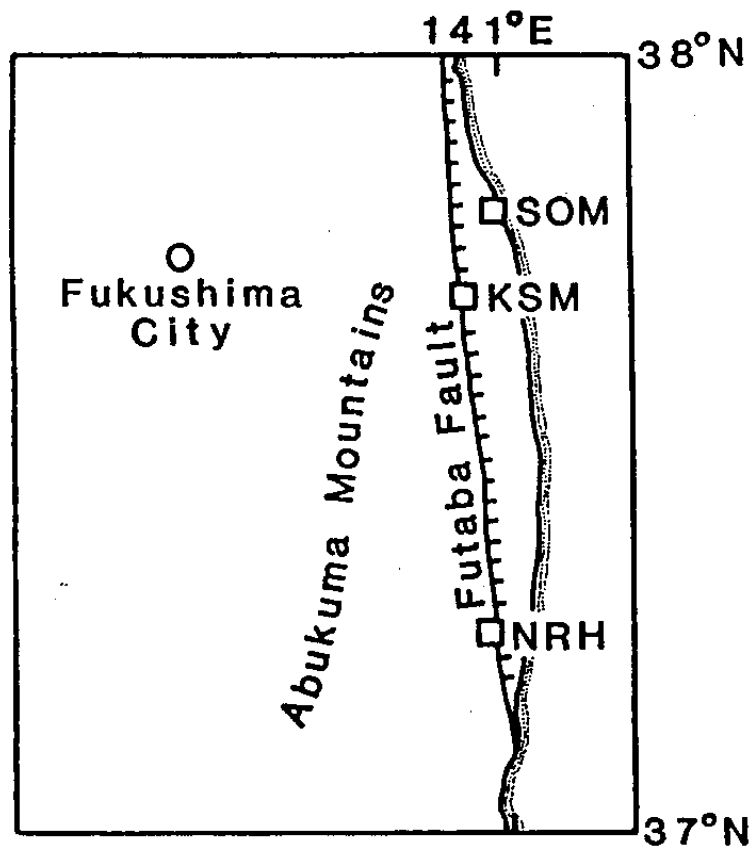
観測点は、第1図に示す相馬 (SOM)、鹿島 (KSM)、楢葉 (NRH) の3地点である。第2図は各観測点における、1時間毎のラドン濃度 (積算値) の24点移動平均の変動で、縦軸はこの期間の平均値に対する相対値である。なお、SOMでは1994年2月、NRHでは1993年11月にラドン測定装置を更新した。SOMの図においては更新前 (1993年11月1日～1994年2月15日) と、更新後 (1994年2月16日～11月20日) の区間にわけて、それぞれの期間の平均値に対する相対値で示してある。

SOMでは例年通りラドン濃度は極めて一定である。また、KSMとNRHのラドン濃度には、夏高く冬低い年周変化がみられる。

ラドン濃度は、水温の変動によって影響を受けるため、KSMのラドン濃度についてこの温度効果の補正を行った<sup>2)</sup>。第3図に温度効果補正後のラドン濃度の変動、及び、震源距離約1000km以内で発生したM6以上の地震と震源距離約200km以内で発生したM5.5以上の地震を示す。地震後の明瞭なラドン濃度の低下がみられる。

#### 参 考 文 献

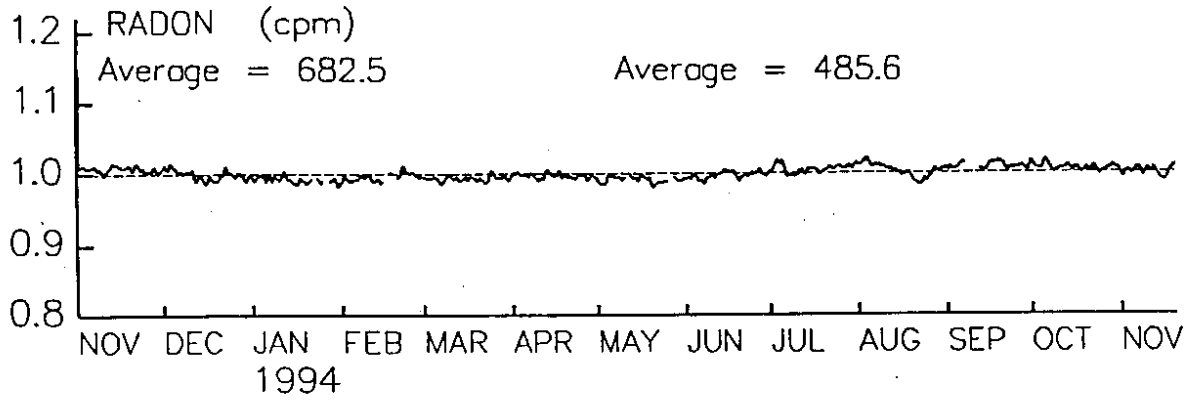
- 1) 東京大学理学部：福島県東部におけるラドン観測 (XI), 連絡会報, 51 (1994), 211-213
- 2) G. Igarashi, Y. Tohjima, and H. Wakita : Time - variable characteristic of ground water radon to earthquakes, Geophys. Res. Lett. , 20 (1993), 1807-1810.



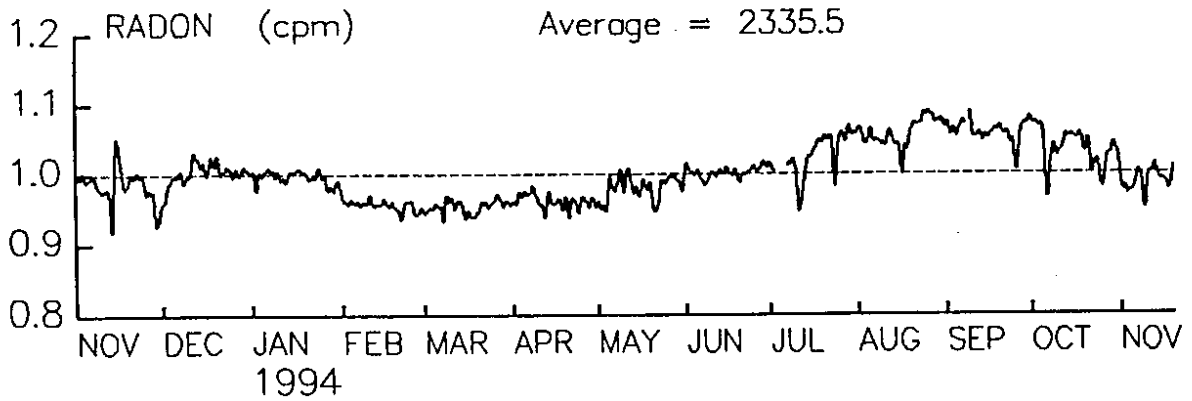
第 1 図 福島県東部の地球化学観測点の位置

Fig.1 Locations of geochemical observation sites in the eastern part of Fukushima Prefecture.

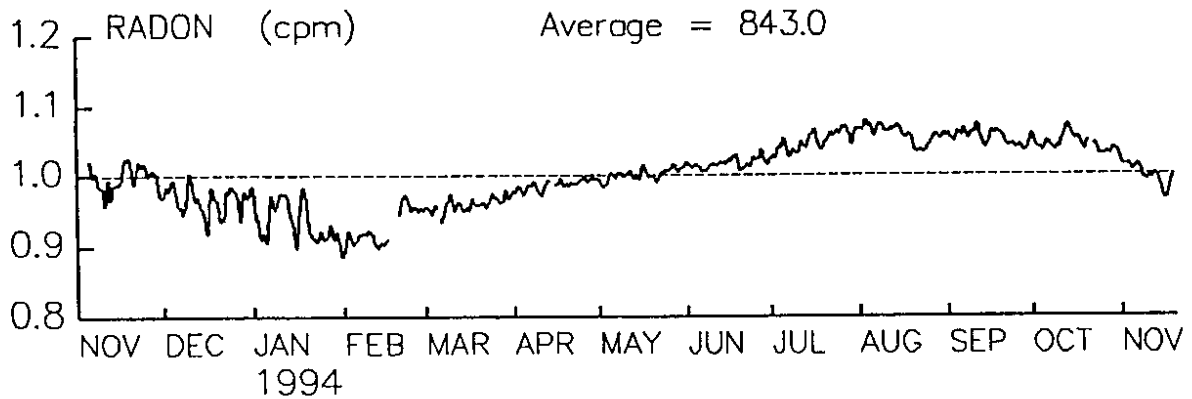
SOM 1993.11.1 - 1994.11.20



KSM 1993.11.1 - 1994.11.20



NRH 1993.11.1 - 1994.11.20



第2図 SOM (相馬), KSM (鹿島), NRH (柵葉) における地下水中のラドン濃度の変化 (1993年11月~1994年11月)

Fig. 2 Temporal variations in the radon concentration in groundwater at SOM (SOMa), KSM (Kashima) and NRH (Naraha). (November 1993 - November 1994). The data are 24-hour moving average values.

